

PAGE Gel 8×10 cm

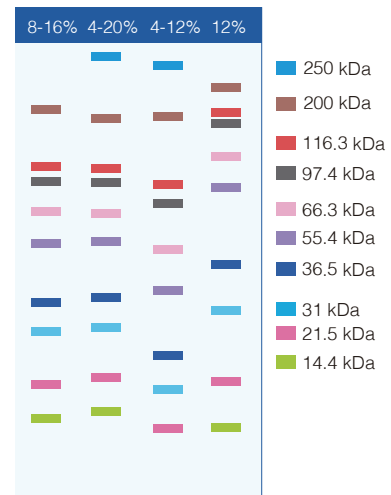
Cat.No. NE-PGS012, NE-PGS412, NE-PGS420, NE-PGS816

取扱説明書 Ver.202403

Cat.No.	製品名	容量
NE-PGS012	FastGene™ PAGE Gel (12%)	10枚
NE-PGS412	FastGene™ PAGE Gel (4-12%)	10枚
NE-PGS420	FastGene™ PAGE Gel (4-20%)	10枚
NE-PGS816	FastGene™ PAGE Gel (8-16%)	10枚

1. 以下の表を参照し、目的のタンパク質の電気泳動解析に適したゲルを選択します。

パーセント	分離範囲
8~16%	10 to 200 kDa
4~20%	10 to 250 kDa
4~12%	20 to 250 kDa
12%	6.5 to 200 kDa



2. 試料の調製:

試薬	容量
タンパク質試料*	x μL
脱イオン水	最大 8 μL
5×ローディングバッファー	2 μL
合計容量**	10 μL

*試料を100℃で10分間加熱します (非変性ゲルでは不要です)。

**ウェル当たりの最大容量は 60 μLです。

3. ゲルタンクおよび泳動バッファーを準備します。PAGE泳動バッファーにはFastGene™ MOPS (PG-MOPS10) またはMESバッファーを使用してください。Tris-Glycineは使用しないでください。

注意: FastGene™ MOPS (PG-MOPS10) はSDSを含むため、非変性PAGEには向きません。

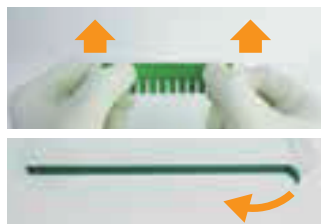
MOPSバッファー	
Tris塩基	6.06 g
MOPS	10.46 g
EDTA	0.3 g
(SDS) *	(1 g) *
H ₂ O	最大1000 mL

*非変性ゲルでは不要

MESバッファー	
Tris塩基	6.06 g
MES	9.76 g
EDTA	0.3 g
(SDS) *	(1 g) *
H ₂ O	最大1000 mL

*非変性ゲルでは不要

4. ゲルプレート底のテープとコームをゆっくり外し、ゲル泳動装置にゲルを挿入して泳動バッファーを添加します。



コームとテープを取り除いてください。

Bio-Rad Mini-PROTEAN®をご使用の場合は、ゲルプレートを密着させるために、ガスケットの向きを変えてご使用ください。



注意：内部チャンバーに泳動バッファーまたは水を入れ、漏れがないことを確認してください。

5. 試料をロードする際は標準の10 μ Lピペットをご使用ください。
 ピペットの先端をウェルに垂直に挿入して試料をロードしてください。
 ※1ウェルあたりの最大容量は 60 μ Lです。



6. 電気泳動条件

電圧	初期電流	最終電流	ゲル当たりの泳動時間*
140 V	75~100 mA	30~50 mA	45~55分

*泳動時間はタンパク質の予測サイズ、ゲル濃度および使用電源により異なります。

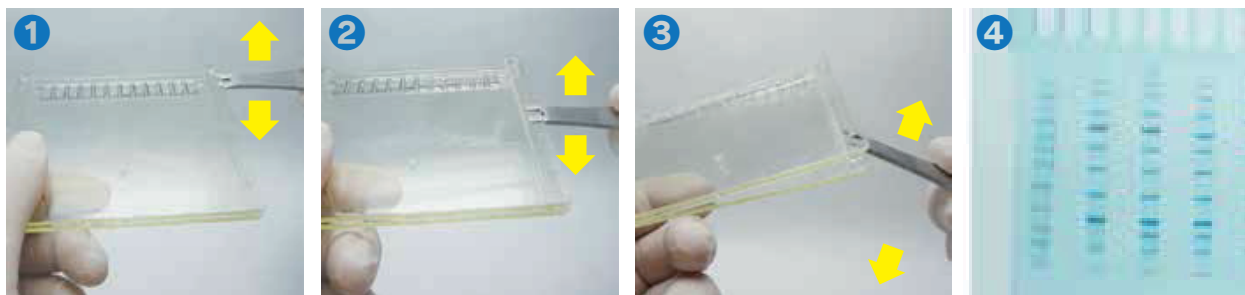
7. 適合性

8×10 cm

- FastGene™ PAGE プロテインシステム (NE-PG01)
- Bio-Rad Mini-PROTEAN® II & 3 Tetraシステム
- Hoefer SE250 Mighty Small II Mini & SE260 Mighty Small II Deluxe

*追加のクッションが必要です。

8. FastGene™ Openerを使用してゲルカセットを開けます。



日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル18階
<https://n-genetics.com> ☎ info@genetics-n.co.jp ☎ 03 (3813) 0961 ☎ 03 (3813) 0962